



私たちは
森づくりを応援します。

越中から、日本の中心から情報発信。

北日本新聞

「ちゃんと
火を使える子供に
なってほしい」

GAS COMPANY 日本海ガス

富山県建設業協会

〒930-0094 富山県富山市安住町3-14 富山県建設会館3F
TEL 076-432-5576 FAX 076-432-5579

デジタル印刷&マルチメディア
とうざわ印刷工芸(株)

本社 〒930-0008 富山市神通本町1丁目8-13 TEL(076)432-3267(代)

里山整備リーダー養成講座
(森環境教育事業所と共催)
10月7日~9日/24名参加



▼初めて森林の伐採作業に参加した。日頃は車から眺めるだけの竹林を、実際に伐採してみると竹の多さにビックリ。硬くて大変だったが、次第に明るくなりすがすがしかった。今後も続けていきたい。
富山国際大学生

2007年の活動に向けて
みんなで話し合おう!

1月17日(水)
午後6:30より
ファミリーパーク自然体験センターホールにて

●皆さん集まりましょう! 参加申込みは事務局まで

▼今年も残すところあとわずかとなった。振り返り、記憶に新しいことといえば、なんといっても全国で起きたクマの里地や市街地への大量出没、大量捕獲であろう。▼人の手が離れた里山は野生動物に生活の場を与えてしまった。人とクマの生活圏が入り乱れ、その中で人の気配や構造物、環境を学習してきたクマは、野良犬のように人家近くで柿の実などの餌をあさることを知った。そして出会う人に危害を加えた。営々と続いていた人と森のバランスが崩れたのだ。▼きんたろう倶楽部は4月の結成以来、合併した富山市の富山、山田の全地域で活動拠点を設定し、「森づくり、人づくり、地域づく

り、仕組みづくり、情報づくり、組織づくり」を目指して活動を展開してきた。▼この活動に対し、光陽小学校の子どもたちをはじめ8団体から寄付金を頂き、さらに11月2日には「第一回北日本新聞沈黙の森賞」を受賞するなど、きんたろう倶楽部とその活動は、この一年で、富山の地域や社会にしっかりと認められてきたといえる。▼しかし里山が、かつて持っていた野生動物との境界帯としての機能や、自然の価値や恵みを受け取り、感じる場としての役割りは簡単に再生できるものではない。社会全体の認識の転換と継続的な取り組みが必要である。▼その中で、きんたろう倶楽部も現状に甘んじているわけにはいかない。旅立ちの支援を

富山市に依存した一年でもあった。地域社会にあって、きんたろう倶楽部の活動を継続的に展開し、成果を森や人々の中に定着していくためには、自立した組織として育つていかねばならないだろう。▼人もの、資金、事業などの安定した循環の仕組みづくりが急務である。また、それを可能とする組織の強化や事務局の確立がこれからの課題といえる。▼クマも山も眠る冬、わたしたちきんたろう倶楽部は充分に知恵を練ろうではないか。▼そして2007年に向けて歩みを続けよう。悠久の森と人々のために。
山本 茂行
(きんたろう倶楽部 副会長)

▼真夏の照りつける太陽の下、130名にも及ぶ参加者は数名のグルー

呉羽地区
長慶寺竹林整備

8月5日/129名参加
10月14日・15日/22名参加
11月11日/6名参加

山田 務
(きんたろう倶楽部事務局 局長)



伐採した竹をチッパーシュレッダーを使って粉砕

▼リーダー会議で「秋の羅漢祭りまでには整理をする」と決め、時雨模様の中、集まったメンバーは倒れた竹や枯れたものを粉砕処理



竹やぶが見る見る美しい竹林に



ブに分かれ、歩くこともできない竹のはびこる斜面に分け入ること2時間。光の差し込む美しい竹林が蘇り、羅漢さんも嬉しそうに笑顔になりました。昼は長慶寺で、住職さんのお話を伺い、みんなで意見交換をしました。継続的に整備しようという熱意の声から、地域チームが誕生しました。
田口 松男

森の里親・光陽小学校
(KORORIの森)
10月29日/75名参加



いいがに
なったネ~

し、午前午後合わせて5時間に及ぶ作業をしました。▼終了後、参道から見上げる羅漢さんの背景は見違えるほどすっきりとしていました。参加者からは「いいがになつたね」の声と、顔には「良かった」の満足感が溢れていました。
近島 穆

▼私は、少しでも森の木を増やしたいと思って参加しました。竹の植木鉢のどんぐりがうまく育ってくれるように、世話をしていきたいと思っています。
5年 福居 紗希

▼私は、KORORIの森には木が少ないなあと思いがらどんぐりを植えました。今回のように緑を増やすことができるチャンスがあつて、それに参加できたことがよかつたと思えました。
5年 畑田 樹里

森の里親・紅葉ガ丘幼稚園
(吉作地内)
10月26日/35名・10月31日/58名参加



はやく
大きくな~れ

▼KORORIの森を元に戻すための第一歩を踏み出すことができました。▼この活動に、きんたろう倶楽部の方から教わったことを生かして、もつと緑を増やす活動に取り組みたいと思います。
5年 藤永 健

▼たくさんさんのどんぐりを拾った子ども達は嬉しい気持ちがあふれ出て、友達や教師、きんたろう倶楽部の方々に「こんなに集めちゃった!」と伝えていました。▼竹の植木鉢はふんわりと良い香りがし、手作り自然のぬくもりが感じられます。▼翌週、「ひまわりの会」のみなさんと青空の下で「どんぐりころころ」を歌い、自然に親しむだけでなく、世代間交流を通して楽しい時間を過ごすことができました。ひまわりの会のみなさんも、「今日は私達も楽しかったちゃ!」と言っておられ、嬉しかったです。
山下 智子
(紅葉ガ丘幼稚園 教諭)

大沢野・大山地区整備
(森林政策課主催)
9月10日/110名参加



中沖 修一
(人づくりチーム)

▼呉羽の森ってどんな森?夏休み最後の日曜日に約30人の親子連れが集まった。一行は呉羽山の生き物を観察しながら生態系から見た森の状態を肌で感じ、人と共生できる森づくりへの関心を深めあつた。

自然観察講座(昆虫の森体験)
8月27日/30名参加

